

2006年 自然科学研究機構生理学研究所

## 第17回

生理学実験技術トレーニングコース

# “生体機能の解明に向けて”

◆ 分子・細胞からシステムレベルまで ◆

2006年7月31日(月)午後～8月4日(金)

場所:自然科学研究機構生理学研究所(明大寺地区、山手地区)

### 7月31日(月)午後

#### 【講演】

「膜電位情報はどのように細胞の中へ伝えられるか?:膜電位感受性タンパクの多様性と原理」

岡村康司 岡崎統合バイオサイエンスセンター・神経分化研究部門・教授

#### 【各部門の研究紹介】

### 8月1日(火)～4日(金)

#### 【実習内容】

位相差電子顕微鏡の原理と実践

免疫電子顕微鏡法

N-結合型糖鎖の解析

in vitro 発現系を用いたイオンチャネル・受容体の機能解析

パッチクランプ基本法とその応用

2光子顕微鏡による観察の基礎

スライスパッチクランプ法(基礎コース)

スライスパッチクランプ法(応用コース)

局所神経回路の形態的解析法

マウス・ラットの発生工学技術

生理学実験のための電気回路・機械工作

摂食・飲水行動発現機構入門

麻酔下動物での電気生理実験

慢性動物実験法入門

脳磁図によるヒト脳機能研究の基礎

脳機能画像解析入門

対象者:大学院学生(修士、博士)、  
学部学生、若手研究者(企業研究者を含む)

募集人員:約130名

受講料:10,400円(うち保険料200円)

オンライン申し込み:5月1日(月)～6月5日(月)

主催:自然科学研究機構生理学研究所

共催:日本生理学会、日本神経科学学会、  
文部科学省特定領域研究「統合脳」総括班

連絡先:伊佐 正(生理学研究所 認知行動発達機構研究部門)

TEL: 0564-55-7761 e-mail: training@nips.ac.jp

<http://www.nips.ac.jp/training/>

#### [関連企画]

2006年7月30日(日)午後～7月31日(月)午前

文部科学省特定領域研究「統合脳」レクチャーコース

「神経回路のダイナミクス解明への多面的アプローチ」

